

第5章 大綱と基本方針

第1節 大綱

西南戦争遺跡には2つの特徴がある。関連する遺跡・史跡が県内外の広範囲に所在しているという点と、地域住民や関係者などによる慰霊や顕彰が現在まで連綿と続いているという点である。この特徴は西南戦争遺跡の歴史のおよび学術的な意義を、空間と時間の両方からより身近に、より立体的に感じることができる可能性を示している。これらの特徴をもとに西南戦争遺跡の保存と活用を考えることが必要であり、そのためには地域住民や関係団体等の理解と継続的な調査研究が不可欠である。地域活性化や関係人口の増加、生涯学習、教育などの各分野に寄与し、広域的な視点で文化財を捉えて分かりやすく伝えていく必要がある。

このことから、熊本市における西南戦争遺跡の保存活用の大綱を以下のように定める。

時間と場所を越えて、西南戦争遺跡が結ぶ地域の歴史 ～近代日本の夜明けと平和を伝える田原坂～（仮）

第2節 基本方針

前節の大綱と第4章で述べた史跡の本質的価値と構成要素の内容に基づき、玉東町が策定した保存活用計画との連携を踏まえて熊本市域に所在する西南戦争遺跡の基本方針を以下のように定める。

○基本方針1―保存管理：本質的価値の保存

西南戦争遺跡の歴史的・学術的意義を有する遺構や地形などを保存し、当時の景観を保全するよう努める。

さらに、現在国史跡に指定されている範囲以外でも調査を進め、西南戦争の歴史的・学術的価値を有する関連史跡・遺跡の追加指定等に取り組む。

○基本方針2―活用：史跡の価値を伝えるための広域的な活用

西南戦争遺跡が有する空間的および時間的な広がりを分かりやすく伝える。

特別史跡熊本城跡や市内外の他の関連文化財とも連携して各所に残る西南戦争の痕跡や顕彰の事例、調査の最新情報等を関係施設や歴史講座で市民に還元し、観光や教育を含む幅広い分野で史跡を活用して地域の活性化や関係人口の増加に努める。

○基本方針3―整備：史跡の保存・活用と広域史跡としての一体的な整備

西南戦争遺跡の本質的価値を確実に保存しながら、「田原坂の戦い」を体感し西南戦争の意義を学ぶための整備を行う。

来訪者が見学する際の利便性や都市公園および市道としての役割などに配慮しつつ、段階的に整

備を進めていく。また、史跡がまたがる玉東町と統一感のある整備を実施し、西南戦争遺跡の特徴である広域性を表現できるようにする。

○基本方針4—運営体制：史跡の保存・活用のための運営体制の構築

熊本市域の西南戦争遺跡は都市公園・市道・河川を含み、関係部署も多岐にわたる。将来にわたって継続的に保存・活用をはかるために関係部署との連携を強化し、地域住民や関係団体との協力体制を検討する。